

えりも町議会 議会だより

令和元年8月1日

No.30



えりも漁協4救難所合同訓練大会が、7月2日、庶野漁港岸壁で開催されました。肌寒い一日となりましたが、救難所員は、日頃の練習の成果を生かし、真剣な表情で、「ゴムボート操法」「救命索発射器操法」「心肺蘇生法」を披露しました。これから、昆布漁の最盛期を迎えますが、海上安全と豊漁を願います。

P2 令和元年度6月定例会

補正予算・条例改正 ほか

P3～7 一般質問

一般質問 6名 11件

P8 町村議会議員研修会

浦河町 合葬墓視察

P9 所管事務調査報告

北海道中央牧場・ごみ最終処分場・牛ヨ一ネ病

P10 「この人に聞く」

えりも漁業協同組合 直売所 部長代理 小林隆さん



えりも町議会第2回定例会

補正予算

◎平成30年度

一般会計（歳出）

- ・財政調整基金積立金

2500万円

ふるさと納税寄付金の一部を積立

- ・障がい福祉サービス費等

▲891万円

給付対象者の減少によるもの

- ・診療所特別会計繰出金

4600万円

診療所特別会計への繰出金

- ・動物購入費

▲1048万円

優良肉用繁殖素牛導入事業の導入頭数が、見込みを下回ったことによる減額

- ・住宅改修工事等補助金

▲184万円

住宅改修工事補助金の交付決定額が見込みを下回ったことによる減額

- ・えりも港湾整備事業負担金

▲4056万円

国直轄港湾整備事業の負担金確定による減額

◎平成30年度

特別会計（歳出）

- ・出産育児一時金

▲210万円

出産育児一時金の対象者の減少によるもの

- ・介護保険給付費支払準備基金積立金

790万円

介護保険給付費支払準備基金積立金を計上したもの

◎令和元年度

一般会計（歳入・歳出）

- ・日高地区交通災害

共済組合配分金（歳入）

82万円

本組合解散による構成町への配分

- ・プレミアム付き

商品券補助金（歳出）

500万円

消費税増税に伴う低所得世帯及び子育て世帯の消費の支えをするために行われるプレミアム付き商品券の費用

条例改正

・えりも町税条例等の改正

未婚ひとり親に係る非課税措置の創設など、地方税法等の改正により関連条文の改正を行うもの

・えりも町国民健康

保険税条例の改正

①課税限度額の改正

医療給付費分

58万円↓61万円

②軽減判定所得の改正

軽減判定所得を左記のように引き上げることにより、低所得層の負担を軽減する。

5割軽減世帯

1人当たり5千円引上げ

2割軽減世帯

1人当たり1万円引上げ

・えりも町介護保険

条例の改正

介護保険法の改正により第1号被保険者（65歳以上の者）に係る今年度の保険料について、第1段階から第3段階の保険料基準額に対する割合を引下げ、低所得高齢者の負担軽減を図る

①第1段階の保険料率を改正
29700円→24700円

②第2段階の保険料率を改正
49600円→41300円

③第3段階の保険料率を改正
49600円→47900円

人事

・えりも町公平委員の選任

えりも町字新浜

佐々木 光政（51歳）
新任

新任

・えりも町固定資産

評価員の選任

えりも町字大和

橋本 信夫（46歳）
新任

新任

・えりも町人権擁護

委員の推薦

えりも町字本町

神田 眞弓（71歳）
再任

再任

えりも町字歌別

加藤 弘子（71歳）
再任

再任

一般質問

一般質問は、議員にとって、住民から重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動の場です。町政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求め、議員自らの政策提言を行い政治姿勢を明らかにするものです。



橋本維応議員

問 橋本 議員

問 過疎地の店舗支援を

答 既存店舗との競合もあり 慎重に検討

先日、岬地区の商店が廃業したが、他地区も同じ状況が起こると思う。各地区住民の意見や要望を聞き、コンビニの出店や

近年、町内では人口減少による購買力低下やネット通販普及などで売上減少でなく、店主の高齢化と後継者の不在などが閉店の理由と聞く。既存店舗のコンビニ化は、個人又は法人経営で、行政は、介入の限界があると考える。

答 産業振興課長

既存店舗のコンビニ化を要望するのの一つの対策として必要だと思う。近年の自然災害対策やライフラインとして地域に必要。町として先を見越した対策が必要と思うが、見解は。

また、コンビニの新規出店は、他商店との兼ね合いもあるので、慎重に検討。地域住民から要望がある場合は、町としてコンビニ各社に直営店の出店を要望することは可能であると考えている。

自然災害対策は、町内出店のセイコーマート、セブンイレブン、コープさっぽろ、ホームマックニコットなどと「災害時における応急生活物資の供給等に関する協定」を締結している。



災害時には不可欠なえりも地区のコンビニ

問 橋本 議員

問 消防のはしご車の導入を

答 配置基準未満のため難しい

先月、えりも岬で火災が発生した。2階部分から出火したが、建物の構造上、下からの放水しかできず消火に手間取った。また、2階以上に被災者が取り残

された場合は、普通の「はしご」は壁面が高温となり接近は困難で、高所作業車で建物に近づくことが求められる。高所からの消火活動や人命救助が可能な「はしご車」が必要と思うが見解は。

答 消防支署長

現在、4台の消防車があるが、はしご車はない。基準は、高さ15メートル以上の中高層建築物が消防署の管轄区域におおむね10棟以上ある場合、または、店舗・旅館・病院等の特定防火対象物のうち、中高層建築物がおおむね5棟以上ある場合には、はしご車を1台以上配置することになっ

ているが、えりも町内については、これらの建築物が配置基準未満である。しかし、中高層建築物は内装の不燃化、避難階段の設置などにより構造上の安全性や避難性が確保されているとはいえず、建物内部に侵入できない場合は、建物外部高所からの消火活動や人命救助が有効と考える。今後の車両の更新状況を十分勘案して、検討する。



高所被災時に必要なのはしご車

現在、光回線はどの
地区が整備されている
のか。

問 中野 議員

問 光回線の整備を

答 費用対効果を含め検討



中野公浩議員

答 企画課長

また、未整備地区の整備計画は、後継者を残すため、また他地区からの移住を受け入れるためにも光回線は必要であり、補助金と過疎債を使えば1割程度で済むと聞いている。
ふるさと納税寄付金を利用して整備しては

当町の光回線の整備率は100%となっているが、実際のところ、大和地区の和里地域、歌別地区の歌別川から岬側の地域や上歌別地域、庶野地区のシトマン川から岬側の西庶野千平、苦別などの地域がNTTのフレッツ光サービスのエリアから外れている。

現状では、NTT東日本等の民間事業者での新たな整備計画はない。

国の補助があるにしても光ファイバーを敷設する整備費が高額で、



光回線は、もはや必需品となりつつある

光回線の積極的加入希望者がどのくらいいるのか、その上で整備の範囲をどこまでにするのか、費用対効果を含めて慎重に検討したい。

新冠町では、今年度から2か年で補助金による整備を進めているが、加入者を集めることは町というより、整備を要望していた地区の方々に積極的に期成会を結成し、広く加入を呼びかけたことにより、NTTの求めている加入数を確保したようである。

問 上野 議員

問 大型風力発電による環境への影響は

答 事業者に環境保全を要請



上野陽司議員

町への経済効果は絶大だと言われているが、
①風車本体と送電線の支柱など、掘り起こされた土砂の自然環境への影響と「歌別川」の水流や樹木に与える影響は。

立てるようお願いしている。
②送電線は河川の上空を通すことになると思われ、環境への影響を十分配慮するよう要請している。

③関係団体と協働し、行政が先導して緑化事業を推し進める考えは。
④風力発電の経済効果により税収が増えた場合、10%あまりを森づくりに投資する考えは。

答 産業振興課長

大型発電事業は、大阪の事業者、過去にえりも岬で風力発電事業を行っていた事業者、他に数社が参入の意思を示している。

①樹木の伐採や土砂の搬出も最小限にし、川に影響がない計画を



環境に配慮した計画が望まれる風力発電事業

③町・漁協・森林組合などで構成する「えりも岬の緑を守る会」が毎年、春に植樹、秋に育樹を行っており、風力発電事業者にも積極的に参画するよう要請していく。
④増収見込みは不明だが、今後検討していく。



竹内孝文議員

問 竹内 議員

この2年間で常勤医師が2名とも短期間で退職したが、
①早期退職は何が原因と考えるか。

問 常勤医の早期退職の原因は

答 今後も誠心誠意、医師の確保に努める

②特に、今回退職した外科医師は定年を延長してまで採用したにもかかわらず2か月での退職となったが、事前の調査が十分だったのか。

③退職に至った経緯を町民に説明する必要があると考えるが。

④町民に不安を与えたことについて任命権者としての町長の責任は。

答 診療所事務長

①先の外科医師の退職は、常勤医師間の問題であり、今回の外科医師は、勤務姿勢などについて注意したが改善されなかったことで退職に至った。

②医師の定年延長については65歳を超えても元気に働いている方も大勢おり、任用の機会を広げるためのものである。

また、採用にあたり、医師には直接えりも町

に来ていただき、概要説明、診療所施設・医師住宅などの視察をし、北海道地域医療振興財団の職員立ち会いのもと、理事者と面談を行うて採用した。

また、前勤務先にもどういった医師なのかを確認しており、特に問題はなかったと考えているが、今後はもう少し踏み込んだ調査を実施したい。

③退職に至った経緯だけでなく、医師の招へいの状況についてもいろいろな場面で町民の皆様に説明していきたい。

答 副町長

④町民の皆様には不安を抱かせる事態となり、心からお詫びを申し上げます。少しでも早く常勤医師の複数体制が構築できるよう、招へい活動を強化していきたい。

問 診療所看護師の早期確保を

答 継続して人材確保に努める

医療職スタッフは募集しても人材確保が難しい状況の中、なぜ先を見越した対応をしないのか。

③看護師が集まらなければ、近い将来、入院病棟の休止・閉鎖という最悪の事態が予測されるが、そうなれば、時間外の救急患者も診られない。また、地元で看取りたいという家族にも対応できない。

町民の命を守る唯一の診療所をどのようにしようとしているのか。

答 診療所事務長

①今年度から3年連続で各年1名の退職予定者がいる。

看護協会や各種新聞・広告などを利用しながら継続して看護師を募集していくが、看護体制に支障をきたす恐れがある場合には、臨時看護師・看護助手も採用しながら対応していきたい。

②昨年度は1名退職者がしたが、その時点では入院・外来患者数から補充はしなくても良いという判断をした。

しかし、病気休職者が出たため、2月に募集をし、応募者がなかったことから再度6月に看護師と看護助手を募集した。

③診療所は、一次医療・一次救急の拠点として欠かせないものであり、今後も、診療所の機能を低下させないよう関係機関の協力を得ながら、人員の確保に努めていきたい。



医師や看護師の充実が望まれるえりも国保診療所



大坂庄吉議員

問 中央保育所避難路に手すりの取付を

答 現場・保護者の意見で検討

問 大坂 議員

答 町民生活課長

保育所は、幼児を守り育ててくれる所として、また仕事の都合や病気などで幼児の世話ができない家庭が幼児を預ける施設として有効的に利用されている。現在地の地理的条件を見たときに、海拔も低く河川も近くにあるので災害時や津波の発生時には、直ちに高い安全な所へ移ることになる。

避難訓練は実施されているが、避難場所まで行き着くまでは、大変であると認識している。

しかしながらこの避難路には手すりがかつていないが、避難を容易にするためには、手すりは重要な役割を果たすと感じる。安心・安全に能率良く幼児を誘導するためにも早急に対処すべきでは。

避難路の土質は、玉石が多く含まれており、たとえ手すりを設置したとしても、土質は決して強いとはいえず、手すりが傾き避難する際の障害になることが考えられる。

避難路の草刈りやウッドチップの補充などの整備を行いながら、保育士や保護者の意見を聞き、協議検討していきたい。



避難路の手摺取付が検討されているえりも中央保育所

問 太陽光発電に関するガイドラインの作成を

答 早急に策定する必要がある

問 大坂 議員

答 企画課長

町内では、近年太陽光発電のパネルが数か所設置されているが、その全てが民有地であり、町では建設されて初めて知るといった状況にある。

このことから、太陽光発電施設についても風力発電施設と同様に、設置状況の把握や地域住民とのトラブルの未然防止のため、ガイドライン等について、早急に策定する必要があると考えるが。

一般的に条例等での規制は、制定後の事案に適用されるのが原則のため、既に経産省において認定された計画に適用させるのは難しい。

町としては事業者に対し、関係法令や町で策定するガイドライン等を遵守すること、特に近隣住民に対しては工事着工前に計画を説明し、了解を得たうえで事業を進めるよう調整を図っていきたい。



強風により損壊した事例があり、近隣住民に対する被害が懸念される太陽光発電

問 免許返納へ環境整備を

答 相談窓口の開設を検討



高松亮裕議員

問 高松 議員

答 企画課長

機能検査を受けることができるようにする。など、方策を講じるべきでは。

の車に後付けできる安全装置が開発されており、その動向を注視しながら高齢ドライバー全般に対する支援など、検討していきたい。

高齢者の運転操作のミスによる悲惨な交通事故が多発する中、免許の自主返納に向けた環境を整備するため、
① 返納後の移動手段として、買い物や通院のための送迎車や乗り合いタクシーなど、新たな交通手段の提供。
② バスやタクシーを利用した場合の運賃の割引や商品券の配布などの何らかの支援。
③ 返納手続きがひとりでできる「ワンストップ窓口」を定期的に役場内に開設し、併せて返納に係る相談や認知

①の「新たな交通手段の提供」については、現在、管内7町で日高地域における地域交通について検討を行っている。

このバス路線の方針が確定した上で、新たな町内交通網の整備をタクシー事業者やJR北海道バスとも調整を図りながら検討する。

答 町民生活課長

②の「何らかの支援」については、現在、市販では誤発進防止や踏み間違い加速抑制など



4万円以下で後付けできる市販の急発進防止装置

問 新設プールの検討状況は

答 学校プール、令和3年度 完成予定

問 高松 議員

プール新設の検討状況と浦河町民プール休業の影響は。

答 学校教育課長

関係機関や諸団体との協議の結果、建設を望む声が多かったことから児童だけでなく、一般町民も最大限活用できる「学校プール」（屋外・屋根付き）を、

令和3年度中の完成を目指し建設することとした。

プールの規模は、25メートル4コース、幼児プールを含めたコンパクトなものを計画しており、建設場所は旧えりも小学校跡地を予定している。

また、浦河町民プール休業に伴い、今年度は学校のプール授業と併せて様似町にお願いし、児童が水泳に親しむ機会をできる限り多く確保できるよう計画している。



プール建設が予定される旧えりも小学校跡地

問 豊似湖観光を活性化

答 ガイドの養成、関係機関と協議

問 高松 議員

ヘリコプター遊覧飛行に加え、さらなる森と湖の里ふれあい館の有効利用を図るべき。

答 産業振興課長

グラウンドのキャンプ場化やバーベキューコーナーの設置を検討したが実現に至っていない。ガイドを養成し、豊似湖や猿留山道を散策する案も検討していきたい。

議員研修を終えて

神田 修 議員

令和元年度の「北海道町村議会議員研修会」が、6月25日に札幌コンベンションセンター（白石区東札幌）で開催されました。

研修会には、当町の議員11名をはじめ、道内144町村から1500人余りの議員、事務局職員が参加しました。

講演は、政治評論家・有馬晴海さんの「どうなる？ 今後の日本政治」と中央大学名誉教授・佐々木信夫さんの「地方は変わるか？ 議会はどう変わるか？ 自治体をどう変えるか？」の二つでした。

有馬晴海さんは、安倍首相が12年前の大敗を糧に年金問題で2度と同じ過ちを繰り返すことなく今夏の参院選を戦いぬく考えであること、少子高齢化や財源不足、資源不足の状況の中で、144町村の議員の皆さんが活躍が地域の活性化につながり、より良いまちづくりと地方自治の発展に欠か

せないとい説しました。

次に、東京都庁に11年間勤務し、北海道の鈴木知事が後輩に当たる佐々木信夫さんは、20世紀の全て右肩上がりの状況を、21世紀は人口は減るもの、経済は拡大しないもの、所得も財政も増えないもの、とりセットして考える必要があると強調し、また議会運営では、立法、政策能力の向上や議会の自主性確立、開かれた議会づくりを目指し、議員同士が議論を重ねていくことが重要だと話していました。

この日の研修を今後の議会活動に十分に活かしていくことが大切なことと心に刻み込みました。



札幌コンベンションセンターでの
北海道町村議会 議員研修会

行政視察報告・浦河町「合葬墓」

令和元年6月26日、浦河町役場にて「合葬墓」に係る行政視察（聞き取り調査）を行いました。

浦河町の合葬墓に関しては、平成29年8月に浦河町総合計画に盛り込まれ、先進地の視察調査や住民アンケートを終え、今年3月の定例議会において、合葬墓整備費を予算化、議会の議決を得て今年度執行される運びとなったものです。

総事業費は540万円、規模は約11平方メートルで、1,000体の収容が可能とのことでありました。

使用条件等は、お墓などの継承に困っている方で、故人が町内に住所又は本籍を有している方、または有したことのある方などの条件があり、留意事項として、生前予約は受け付けない、町は供養などの宗教的な行事は行わない、納骨は町からの委託業者が行うなど複数の条件が付いていました。

施設は本年11月完成予定で12月から供用開始という説明でありましたが、現段階においては様々な問題点や課題があり、それらの整理が必要とのことでありました。



浦河町役場での合葬墓視察
これからのえりも町の課題でもある

所管事務調査

総務文教常任委員会 委員長 成田一人
副委員長 笹谷廣喜 委員 橋本維広
神田 修 上野陽司
産業民生常任委員会 委員長 高松亮裕
副委員長 渡部 泰 委員 大坂庄吉
竹内孝文 中野公浩
議長 石川昭彦

調査日 令和元年5月31日（金）

北海道中央牧場について

北海道中央牧場の繁殖豚生産事業は、平成29年10月にも調査を行い、近隣の河川に対する環境対策について強く要望していたところ、昨年8月から工事が始まり、施設の全体像がわかり、改めて事業内容を確認し、河川への環境対策及び雇用の状況について現地調査を行ったものである。

現在、7つの豚舎が建設中であり、体制を整えば最終的には週1, 500頭が生産予定。今後、10月に交配、2月に分娩開始、4月中旬まで肥育し、別の牧場に移る計画であると説明を受けた。

懸念した河川への影響は、北海道漁連と協議を重ね、浄化施設で浄化したのち沈殿槽に溜め、上層の水のみが河川へ流れる仕様となっており、国の定めた水質基準よりも清浄化されるように厳しくなっている。雇用面では22名の従業員中、えりも町からは10名を雇用している。また、消毒、着替えをせずに豚舎等への立ち入りができない構造となっており、防疫面でも十分配慮されている。工事が安全かつ速やかに進み、生産事業が計画通りに行われ、本町の産業及び経済の活性化につながることを期待している。



急ピッチで建設が進むえりも分場

ごみ最終処分場の運営状況について

様似町のごみ処理最終処分場が終末期を迎えることから、本町の処分場において不燃ごみを受け入れることが決まり、この4月より受入れが開始されたところである。

調査時点までの搬入量は約15tで、年間では約100tが見込まれることになるが、その量は概ね計画通りであった。引き続き、搬入量と計画を確認し、大きな開きが発生するようであれば、両町で適宜協議し、最善の方策を探ってほしい。

また、本施設は供用開始されてから15年目となることから、維持管理が重要な課題となっている。遮水シートの管理については、漏水を検知するシステムに加え、タタミで覆うことでガラス等による破損と日光からの劣化を防ぐ手段を講じており、十分な対策がとられているが、破損した場合は環境に与える影響が小さくないと考えるため、今後も管理の徹底を図られたい。



様似町からの不燃ごみ受け入れが開始された最終処分場

牛ヨーネ病について

平成25年度より本町において発生した牛ヨーネ病は、現在23戸中10戸で発生しており、今年度に入ってからこの2か月で約100頭を淘汰するなど、関係者の懸命な努力にも関わらず依然、終息の目途が立たず、この間、廃業する生産者も出ており、極めて深刻な事態である。

本病は法定伝染病であるが、都道府県によって対策方法の統一化が図られていないことや、検査対象牛が限定的であるなど、制度の見直しが必要と考えられる点がいくつかあった。一旦発生した場合は、患畜の淘汰に加え、清浄化まで最低3年間の検査が必要となり、生産者の負担も非常に大きい。

町では、生産者への消石灰の配布や職員の手による牛舎の清掃・消毒など、感染拡大防止に向けた対応を行っているが、今後もできる限りの協力・援助をお願いしたい。また、道と国に対しては、検査体制の充実と患畜淘汰に係る手当金限度額の増額を積極的に働きかけてほしい。



町内でも発生している牛ヨーネ病

この人に聞く

えりも漁業協同組合
直売所 部長代理
こばやし たかし

小林 隆さん



Q 普段の勤務で感じたこと、また、心がけていることは？

A 鮮魚が店頭に並んだときは多くの方が来店して買ってくれるので、改めてえりもの町民は魚が好きなんだなあと思いました。また、気持ちよく買物をしてもらうために、笑顔で接することを心がけています。

Q 町外の人もよく見かけますね。

A 特に、土・日になると町外からも結構来てくれます。直売所のことみだんだんと浸透してきて、お目当てる品を大量に買う人もいます。

議会の動き

6月7日	日高町村等監査委員協議会定期総会 及び監査委員・補助職員研修会
6月11日	定例出納検査
6月11・12日	全道町村議長会 定期総会・研修会
6月13日	日高東部消防組合議会 日高東部衛生組合議会
6月14日	えりも町戦没者追悼式 議会運営委員会
6月21日	全員協議会・第2回定例会
6月22日	札幌えりも会
6月25・26日	道内視察研修・全道議員研修会
6月27日	日高総合開発期成理事会 及び定期総会
6月29日	えりも分屯基地開庁65周年記念行事
7月2日	えりも漁協4救難所合同訓練大会
7月4日	日高東部消防組合議会
7月5日	定例出納検査
7月8日	広報広聴常任委員会
7月9日	新任議員研修会

ます。

Q 今後の課題は。

A できるだけ新鮮な魚を置きたいと思っています。また、毎日の入荷状況を皆さんに発信できるように仕組みも考えていこうと思います。

Q 趣味や休日は。

A 趣味は車ですかね。外見と同じく？かわいくて小さな馬力のある車が好きで、ミニクーパーに乗っています。

休日は妻とドライブや帯広に買物に行ったりしています。

今回は、浦河町生まれで、昭和63年にえりも町漁業協同組合に正職員として採用され、開店から8年目を迎えた直売所の責任者という立場で販売促進に奔走する小林さんにお話を伺いました。「僕なんかでいいの」と言いながら、気さくに応えてくれました。今後もご活躍を。お忙しい中、有難うございました。（取材・高松）



売出しの時は多くの客で賑わうえりも漁協直売所

編集後記

町議会選挙の後、初めての定例議会を終え、一つ目の大きな仕事を終えたことを噛みしめているところでもあります。

今回は、委員会メンバーも入れ替わり 気持ちも新たに組みんでいく所存であります。

また、主幹産業である昆布漁も解禁となり、えりもが活気づくこの季節を皆さんは、待ち遠しかったのではないかと思います。

これからのえりも町は、様々な問題がありますが、町側・議会側と知恵を借りながらスピード感をもち、また皆様と共に乗り切り、新たな時代を切り拓く覚悟で臨んでいきたいと思うところでもあります。（橋本）

広報広聴常任委員会

委員長 橋本 維広

副委員長 高松 亮裕

委員 竹内 孝文

委員 神田 修

委員 上野 陽司